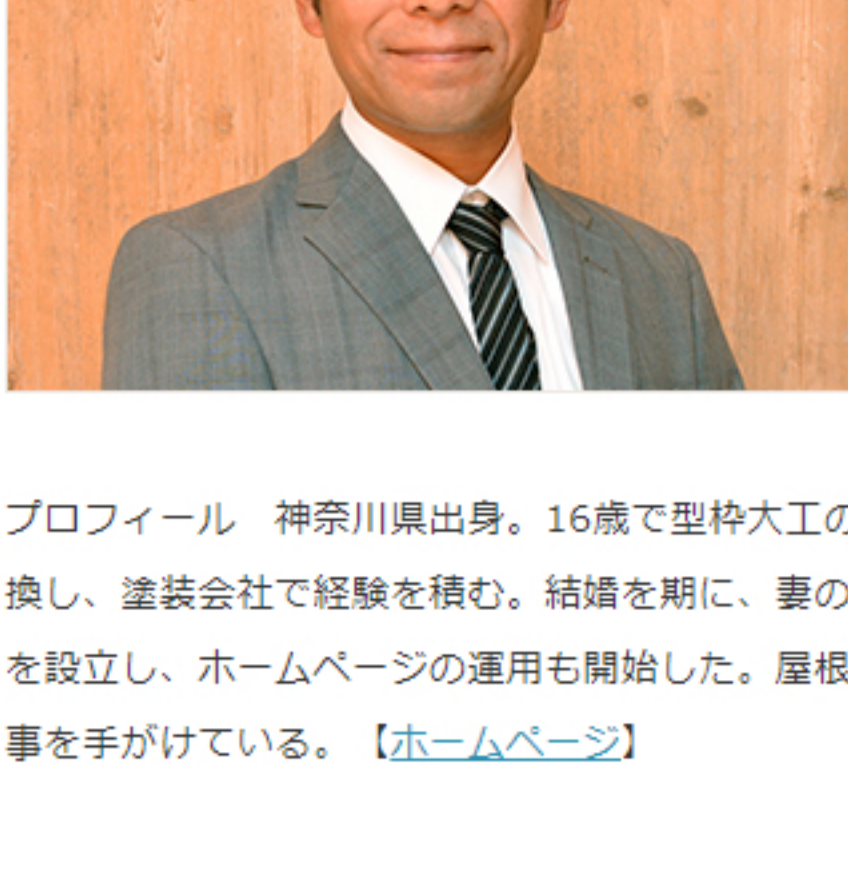


経営者インタビュー EXECUTIVE INTERVIEW



確かな技術で誠実に対応
塗装・防水で地域に貢献

誠匠ホーム
代表 深澤誠

プロフィール 神奈川県出身。16歳で型枠大工の道に入る。塗装職人だった父の影響から、20歳で方向転換し、塗装会社で経験を積む。結婚を期に、妻の生まれ故郷である兵庫県西宮市に移住。2017年に誠塗装を設立し、ホームページの運用も開始した。屋根・外壁塗装・防水工事を中心に、年間約100件以上の工事を手がけている。【[ホームページ](#)】

塗装・防水工事を手がける誠匠ホームの深澤誠代表は、「塗装工事はお客様の目が届きにくいからこそ、真剣に向き合い最高の仕事を積み重ねていくようにしている」と信念を語る。年間100件以上もの工事を手がけるその実績で、同業者や地域住民から絶大な信頼を獲得している。会社設立からわずか3年で快進撃を続ける深澤代表は、若い世代を育てながら、次世代の塗装業界も視野に入れている。

16歳で建築業界へ。20歳から塗装一筋

狩野 兵庫県西宮市を拠点に、塗装・防水工事業を展開する誠匠ホームさん。屋号のネーミングに、職人としてのこだわりを感じます。

深澤 私の名前「誠」と「匠」を組み合わせた造語です。塗装職人として誠実な思いを込めて、仕事に妥協することなく、匠な技術でお客様のニーズにお応えしたいという意志で決めました。

狩野 仕事への熱い気持ちが伝わってきますね。深澤代表は関西弁ではなく、とても口調が優しいですね。出身はどちらなんですか。

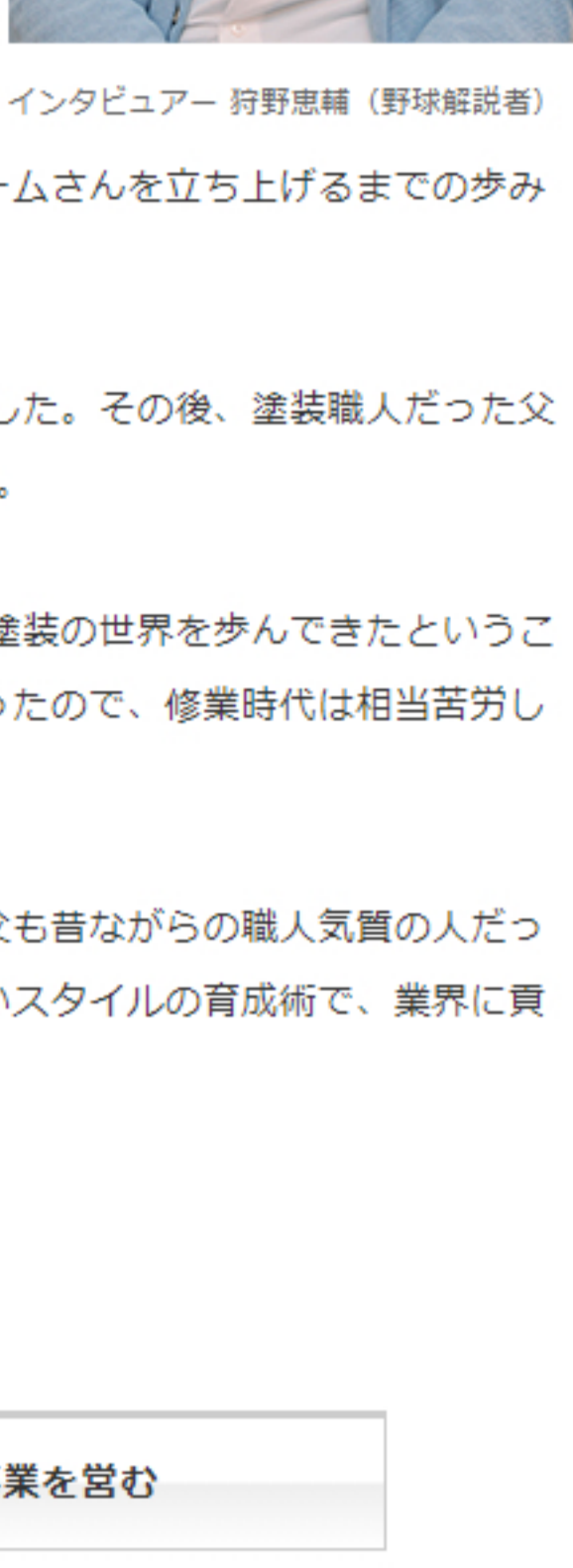
深澤 神奈川県です。結婚を期に妻の出身地の西宮市に移住してきました。

狩野 関西弁ではないことに、納得しました(笑)。それでは、誠匠ホームさんを立ち上げるまでの歩みを教えてください。

深澤 私は16歳で建築業界に入り、型枠大工の見習いからスタートしました。その後、塗装職人だった父の影響もあり、20歳頃から塗装会社で働き始め、約20年この道一筋です。

狩野 塗装業に方向転換したのは、お父さんの影響だったと。20年間、塗装の世界を歩んできたということは、業界のことは酸いも甘いも熟知している印象です。昔は縦社会だったので、修業時代は相当苦労したのでは？

深澤 そうですね。若手の育て方は、今とまったく違いました(笑)。父も昔ながらの職人気質の人だったんです。そういった過去の経験があるからこそ、現代に合わせた新しいスタイルの育成術で、業界に貢献したいと考えています。



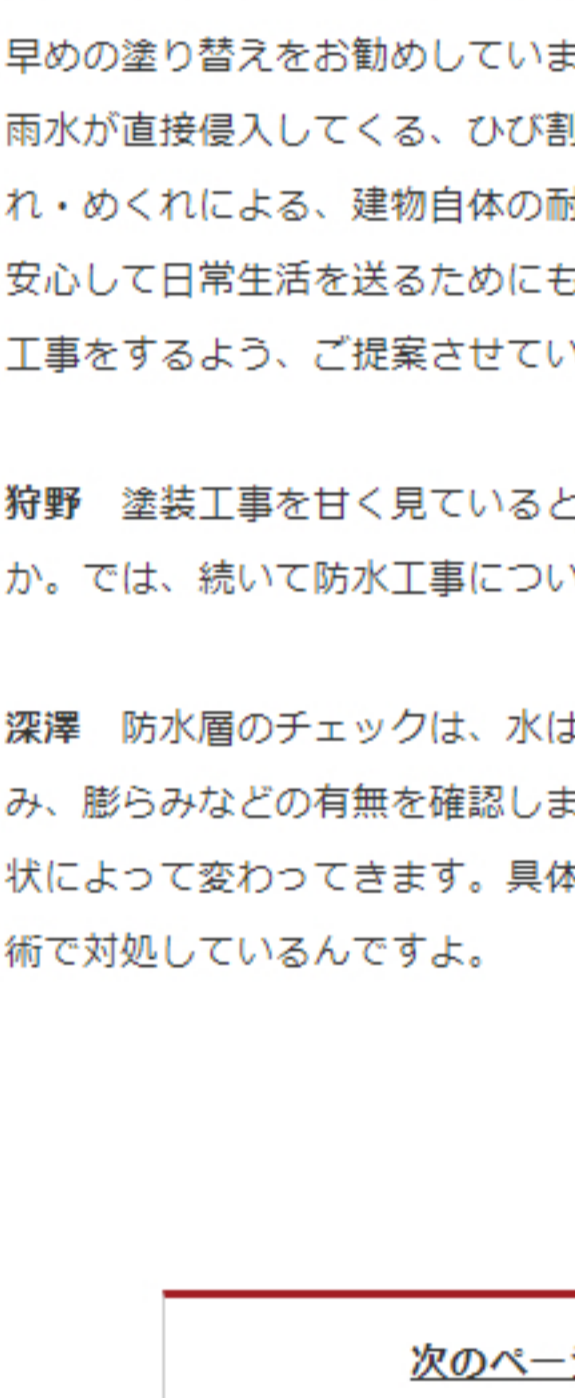
インタビュー 狩野恵輔 (野球解説者)

次のページ：確かな経験と技術で塗装・防水工事業を営む

経営者インタビュー EXECUTIVE INTERVIEW

確かな技術で誠実に対応
塗装・防水で地域に貢献

確かな経験と技術で塗装・防水工事業を営む



狩野 塗装一筋約20年、これまでさまざまな職人さんと会社と関わってきたと想像します。失礼ながら、この業界には良い業者もいれば、悪い業者もいるというイメージです。

深澤 確かに、屋根塗装などはお客様の目が届きにくい工事になりますので、業者選びは慎重にされるのがよろしいかと思います。

狩野 失敗しない塗装工事は業者選びにありということですね。ますます深澤代表の話聞いていくのが楽しみになりました。誠匠ホームさんの事業内容について教えてください。

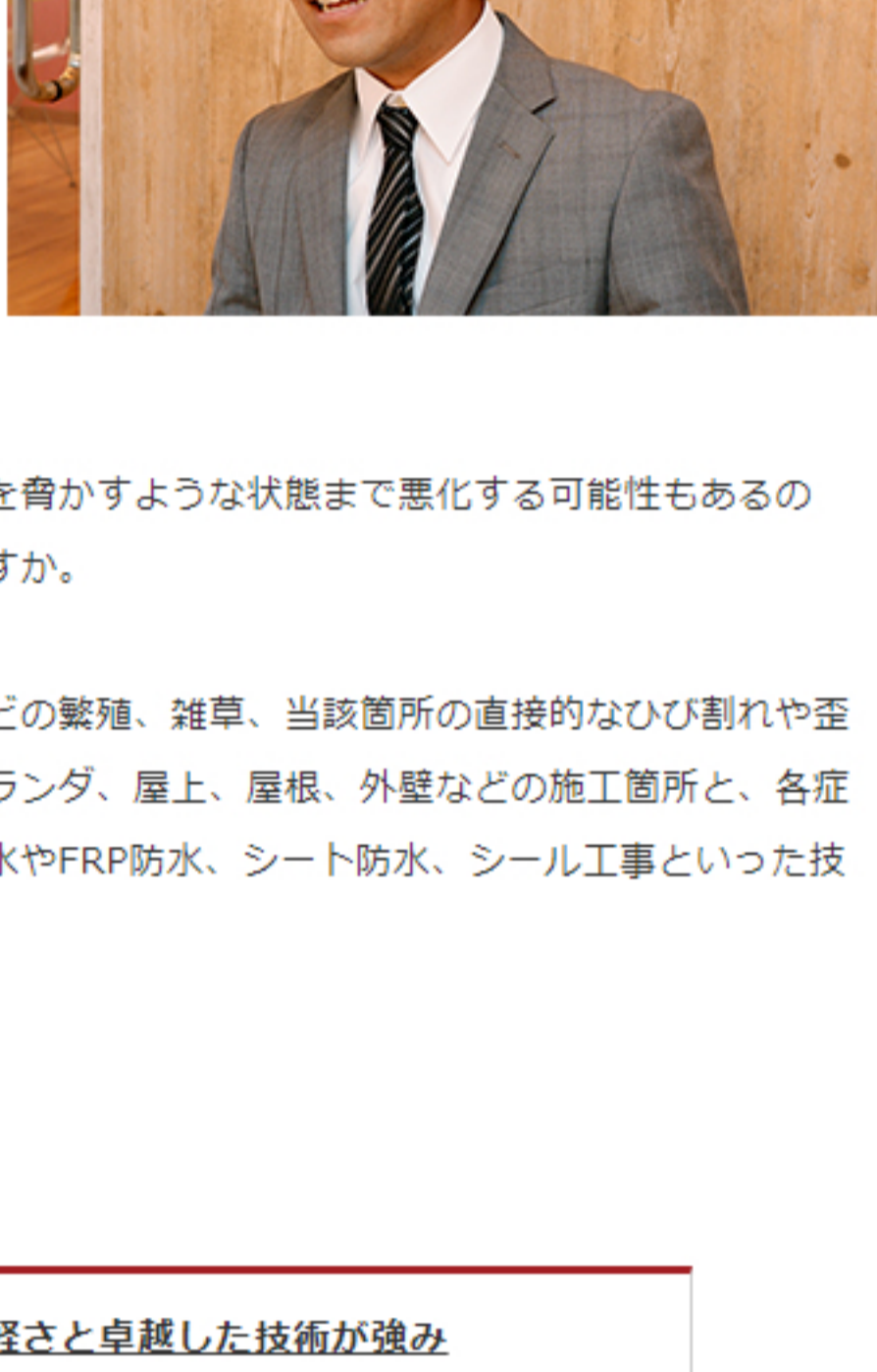
深澤 主な事業は、屋根・外壁塗装と、塗装に付随する防水工事です。屋根・外壁塗装の塗り替え目安は約10年と言われていて、その年数は前回施工した時の塗料の品質や、職人の技量によって異なってきます。また、兵庫県の場合だと、沿岸地域と山岳地域など、住居周辺の自然環境によっても経年劣化に差が出てきますね。

狩野 さまざま要素が絡み合って、塗装のスパンが異なってくるわけですね。勉強になるなあ。劣化を判別する際の注意点などがあれば、知りたいです。

深澤 ホームページにも記載しているように、手で外壁や屋根に軽く触って白い粉が付いたら、塗装が劣化し始めた初期症状になります。これは「チョーキング現象」と呼ばれているものです。

狩野 なるほど。それはわかりやすい。それを放置するとどうなるんでしょうか。

深澤 外壁が水分を吸収してしまうので、より劣化が激しくなります。また、カビやコケが発生するようになります。水分を弾けなくなり、塗装が少しずつはがれ始めると外壁材にも悪影響を及ぼしますので、早めの塗り替えをお勧めしています。深刻なのは、雨水が直接侵入してくる、ひび割れ、塗装のはがれ・めくれによる、建物自体の耐久性の低下です。安心して日常生活を送るためにも、できる限り早く工事をしよう、ご提案させていただいています。



狩野 塗装工事を甘く見ていると、大切な家族の生活を脅かすような状態まで悪化する可能性もあるのか。では、続いて防水工事についても教えてくださいませんか。

深澤 防水層のチェックは、水はけの悪さ、コケやカビの繁殖、雑草、当該箇所の直接的なひび割れや歪み、膨らみなどの有無を確認します。工事の手法はベランダ、屋上、屋根、外壁などの施工箇所と、各症状によって変わってきます。具体的には、ウレタン防水やFRP防水、シート防水、シール工事といった技術で対処しているんですよ。

次のページ：フットワークの軽さと卓越した技術が強み

経営者インタビュー EXECUTIVE INTERVIEW

確かな技術で誠実に対応
塗装・防水で地域に貢献

フットワークの軽さと卓越した技術が強み

狩野 塗装・防水工事が定期的に必要ながよくわかりました。自宅を守り、大切な家族が快適に過ごすための、消耗品という考え方が近いのかもかもしれません。ところで、深澤代表は塗装業界の前は大工だったというお話がありました。リフォーム的な修繕や、その他の住まいに関わる工事でも対応してくれるのでしょうか？

深澤 そうですね。培ってきたさまざまな技術をフル活用し、お客様に還元しております。どうしても手に負えない内容であれば、信頼のおける協力会社さんに外注して対応していますよ。

狩野 それはありがたいですね！ ワンストップで何でも請け負えるのは、大きな強みですね。住まいの工事なら、すべて誠匠ホームさんにお任せできる印象です。それもこれも、深澤代表の長年ひたむきに磨いてきた職人技術と、誠実な人柄が土台にあると感じましたよ。

深澤 狩野さんにそう言っていたけると嬉しいです。スタッフ3名ほどの小さな会社であるものの、全員10年以上の経験があり、年間100件以上の工事を請け負ってきた技術と経験があります。この実績は、下地から一切妥協することのない施工内容と、丁寧かつ無駄を減らすことで工期を短くし、お客様のご負担の軽減につながるように努力してきた賜物だと考えています。

狩野 年間100件以上とは人気ですね！ 対応エリアはどのような範囲ですか？

深澤 西宮市を中心に大阪・京都など関西一円に対応しております。フットワークの軽さも武器の一つですので、無料お見積りなど気軽にお問い合わせいただければと思います。屋根や外壁の状態などを的確に診断して、お客様のご要望に沿った最善のご提案をさせていただきますよ。



狩野 誠匠ホームさんのような会社が近所にあると、地域の人も心強いでしょう。自社施工だとトラブルも防げそうですね。

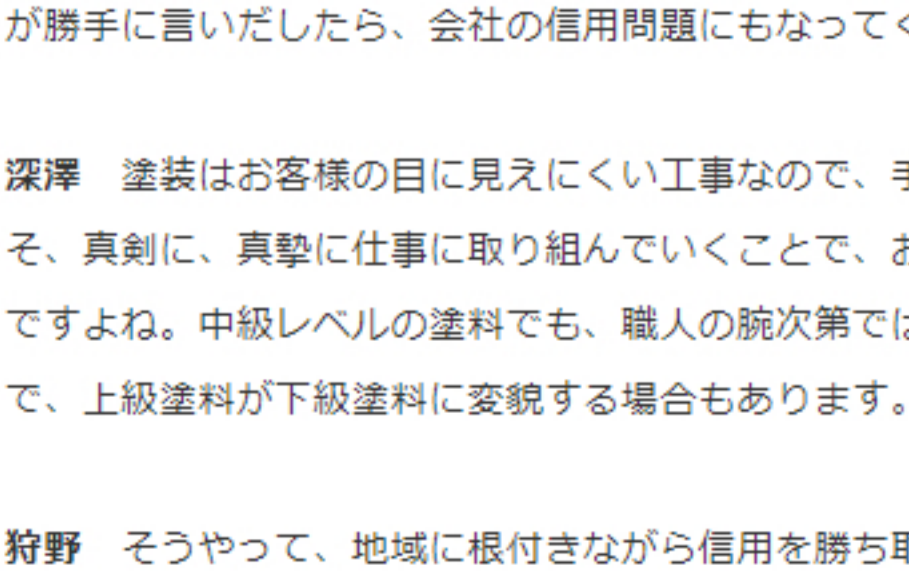
深澤 そうですね。塗料の色は600色以上ありますので、色のサンプルを見ていただき、お施主様に納得いただいたうえで工事を進めます。以前、施工が終わってみると、思い描いていたイメージとは異なっているというご意見をいただいたことがあったんです。その際には私どもの方針として、無償で塗り直し対応をさせていただきました。

次のページ：次の時代を担う若い世代を育てる

経営者インタビュー EXECUTIVE INTERVIEW

確かな技術で誠実に対応
塗装・防水で地域に貢献

次の時代を担う若い世代を育てる



狩野 無償で塗り直し対応をしてくれるところに、誠匠ホームさんの職人軍団としての生き様というか、仕事への強いこだわりを感じます。これは社風、あるいはスタンスでもあると思います。他のスタッフさんたちも共有されている考え方はですか？

深澤 はい。もともと似たような考え方があった職人仲間の声がけをしていたので、良い仲間に出会えたあたりで実感していますね。

狩野 そうでないと、一緒に働くのも難しいかもしれませんね。「俺のスタイルはこうだから」とみんなが勝手に言いだしたら、会社の信用問題にもなってくるでしょう。

深澤 塗装はお客様の目に見えにくい工事なので、手抜きが簡単にできる業種でもあります。だからこそ、真剣に、真摯に仕事に取り組んでいくことで、お客様から信用を得ることができる業種だとも思っています。中級レベルの塗料でも、職人の腕次第では、上級同等の塗装品質に変わります。逆もまた然りで、上級塗料が下級塗料に姿を変える場合もあります。私どものモットーは、もちろん前者です。

狩野 そうやって、地域に根付きながら信用を勝ち取ってきたんですね。これからの展望はどのようにお考えですか？

深澤 おかげさまで会社も軌道に乗り始めたので、今後は若い世代の人材も育てていきたいと考えています。

狩野 技術面はもちろんのこと、深澤代表の仕事への取り組み方や考え方といった、内面も同時に教えていきたいということですかね。未経験者でも大丈夫ですか？

深澤 もちろんです。やる気さえ持っていてくれたら、技術は後からついてきますので、気軽に門を叩いてほしいです。私は負けず嫌いなところがあるので、同じように向上心を持つ仲間と切磋琢磨していきたいですね。

狩野 負けず嫌いは私も同じです(笑)。未経験者のほうが変な癖もなく、伸びしろがありそうですね。深澤代表について一から学ぶことができれば、技術力もかなり向上すると思いますよ。これからもっと事業を拡大して、塗装を通じて社会貢献をしていってほしいです。私も応援していますよ！



「仕事を楽しむ」とは…

同世代や後輩などの同僚に負けたくないと思う競争意識から仕事は始まると思うんです。先輩に追いつきたい、追い越したいという気持ちもそうです。そうやって毎日精進することで10年後くらいにはかなりのスキルアップが期待できますし、それが職人であることの楽しみです。

(深澤誠)